

初級地域公共政策士 ※地域経営学科の学生のみ取得可能

(1) 地域公共政策士の特徴

「地域公共政策士」は、異なる職業分野の垣根（セクター）を越えて、地域の公共的活動や政策形成をコーディネートし課題解決を導くことができる人材のための職能資格です。

あらゆる社会的主体がそれぞれの役割を共有し、共に公共的活動を支えるネットワークを形成していくことが、豊かで活力のある新しい社会を切り開く土台となります。「地域公共政策士」はこうした新しい地域社会をリードしていく人材として活躍していくことが期待されています。

(2) 地域経営人材育成基礎プログラム

北近畿地域の現状を踏まえて、地域社会の多様な社会的資源に新たな価値や位置づけを見出し、その資源を活用して、地域のさまざまなセクターの連携と協働によって地域社会の活力を創出するための基礎的な能力を育成することを目的とした本学独自の資格取得プログラムです。

(3) 「初級地域公共政策士」の資格取得条件

下表の指定科目から6科目（12ポイント）の単位修得と、カリキュラム外の科目である「コミュニケーション演習」（1ポイント）への参加が必要となります。「コミュニケーション演習」を修了するためには、年1回実施する同演習に参加するとともに、別途「地域キャリア実習」に参加する必要があります。なお、本プログラムは2016年度以降に修得した単位がポイント認定対象です。

入学年度	指定科目（1科目につき2ポイントが付与されます）
2024～2025年度	【北近畿系】 「地域資源論」「地域産業論」「社会経済農学」 【分析系】 「統計学」「社会調査論」 【公共経営系】 「ソーシャルデザイン」「公共政策論」「観光まちづくり論」 【企業経営系】 「ベンチャー企業論」「中小企業論」「財務会計論」 【地域研究】 「地域経営研究Ⅲ」
2020～2023年度	【北近畿系】 「地域資源論」「地域産業論」「地域農業システム論」 【分析系】 「統計学」「社会調査論」 【公共経営系】 「ソーシャルデザイン」「公共政策論」「観光まちづくり論」 【企業経営系】 「地域ベンチャー育成論」「中小企業論」「財務会計論」 【地域研究】 「地域経営研究Ⅰ」「グローバル特別演習Ⅴ」

※【北近畿系】から2科目、【分析系】から1科目、【公共経営系】から1科目、【企業経営系】から1科目の単位を「良」以上の成績で修得する必要があります。【地域研究】の科目は、カリキュラム上の必修科目です。

(4) 資格認定の申請方法

資格認定を希望する学生は、所定の申請書類一式を整え、審査・認定手数料を添えて一般財団法人地域公共人材開発機構に提出してください。申請書類としてプログラムの修了証明書が必要であるため、資格認定の申請をされる方は早めに学務課教務係で証明書の発行手続きを行ってください。証明書の発行には3営業日程度を要します。